竹の

園生の御祭え

(左御上)皇太子繼宮明仁親王殿下

順宮厚子内親王殿下 (右御上より)第二

孝宮和子內親王殿下

皇子義宮正仁親王殿下

照宮成子內親王殿下

共同租界通行中の

T. J.

THE REPORT OF

(日 服 日)

は常該軍隊

で設した 一日夕 を設した 日夕

三、程界警察は無免許武器投充したるともには公共たるともではですべての事たるとを関はずすべての事たるとものを捜査する権利を有

泰安占領

に一日午

一時三十分途にわ が手に 結しついた 建した 韓原

機能はこの個に於いて最

わが軍兵士五名は、支那人兇漢のため手榴彈を投げられて負傷し、直ちに「上海」日發國通」一日午前十一時卅分ごろ共同租界漢口路附近を通行中 日華紡宮和工場及び公大第三工 近病院に擔ぎ込んで手當中である

八紡績工場にも爆弾投擲さる

、9の不徹底を暴露したもので、「上海」日發展過3 今回のテ 局ゼラー

方斷乎た

日事件

共同租界工部局斷乎佈告を發表

る態度

復答に關する外務當局談

動の証據湮滅が目的か

「南京一日勝倒通」 一日午後 一時五十分頃南京駐割ソ聯大 一時五十分頃南京駐割ソ聯大 というのでは、見る見 のでは、日本のでは、日本のでは、 一時五十分頃南京駐割ソ聯大

お、ソ支害的成立 より非常な疑惑を

反日策

で全焼

沼田部隊

後一時半肥城に入城したは微夜の强行軍で前進一日午は微夜の强行軍で前進一日午 今後にきほひ立つ に澄み、銃後の精神は囁く その日く

之 榮 新. 〇三間 介勇忠 〇五社 られた、幼稚年六 られた、幼稚年六 られた、幼稚年六 幼稚園の御課程 御心と拜し率る、 御心と拜し率る、 の第一線には侍從は は一線には侍從は A

交させ給ふ、

二列継続で漢口物附近に差 はかいつた際、維候の後部 はでそばで炸裂爆音と共に できるがりを足に は、と煙が立あがり左足に

電政委員會において決定發令 と急ぎつゝあつたが、卅一日 を急ぎつゝあつたが、卅一日 を急ぎつゝあつたが、卅一日

兇漢手榴彈を投ず

等

直ちに附

名負盾

四方

邦御儀行はせらる

白國大使バッソンピエール男世られ、午後一時半三度出御殿に出御諸臣の葬費を受ける

御

旦元年五德康

内ルビ城本一リ通典中 五六③話電

通りの成績といふところである。

を迎へるに至つた 関の春を讃ふる明朝 の春を讃ふる明朝

警察機構統一後國都の警察庫 にして昭和十二年を終らんと ける昨年十二月廿九日早曦高 はに七年間沿着及順治路交叉 は、一般の表でに經過後三日 は、一般の表でに經過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日 は、一般の表でに経過後三日

京タク無免許運轉

抗日園賞らしきもの四十会と に襲撃され三名とも軍傷を負 ったい。石事件は党権が日本品 たもので、わが總領事館では たもので、わが總領事館では たもので、わが總領事館では

、逮捕さる

養深き就賀式を墨 ・に参集して白皚々 に参集して白皚々

を奉行、十一時半より各自室 上 は就質式を終つた【寫真上 は就質式を終つた【寫真上

鐘の音と共に多事なりし昭和!と寒天に鳴りひょいた除夜の!

が再び希望に滿

本 のヴァライエテイある多彩な て二階館笥抽出に置いた九千 に ファグラムが喜ばれ引動き趣 間が何者かに錦取された結盗 この ファグラムが喜ばれ引動き趣 間が何者かに錦取された結盗 これ 1 国 () 一大 () 一大

中學校村上教諭 中學校村上教諭 日に亘り攀行せ 上選手欄大會に 一十名は四

臺灣の

襲撃さる

व

 \cong

B

記念公會室

D

局下ではあるが再び希望に滿 おた新春が訪れ貢新らしい昭 かくるときあはたなしかつた とり虚禮殿上勢呼ばれ例年に比 り虚禮殿上勢呼ばれ例年に比 り虚禮殿上勢呼ばれ例年に比 をも野鹿店も相當な客屋を発しるのも明朗 なも正月度景だどう年は俺等の歳だま をも料理店も相當な客屋を発しるのも明朗 なら正月度景だどと、一方與行界の景景 があるがそれでも矢護り なら正月度景だどとのカフェ をも野鹿店も相當な客屋をみせ でも戻襲りなき繁昌を續 があるが表が表がでも矢護り なら正月度景だとこのカフェ をも野鹿店を見受けるのも明朗 があるが表が表がます。 でも矢護り があるが表がでも矢護り をも野鹿店を見受けるのも明朗 があるが表があるが表があるが表が表が表がます。 でも矢護り をも野鹿石をといるのも明朗 があるがあるがあるが表が表が表がます。 でも大護り なる正月度の表があるがあるが表があるが表があるが表があるが表があるが表しい。 でも矢護り をしてるる、一方與行を提供する。 のにこれ又限りなき繁昌を独世で があるがあるがあるがあるが表があるが表があるが表があるが表がある。 でも矢護り

(轢逃げ

嚴肅な一元旦の儀

輝く戦國の春迎へ

端の はされた、畏く、皇帝陛下に な自出度きお正月をお迎へ遊 が開始を が出れた。 として瑞雲たなびく

は昨今の、思く

(=)

側近者もた

日には午前十時州分より懐遠 の者約九百名の非質を受けさ せられたが、御質素にといふ もられたが、御質素にといふ では一切御取止めとなつた

0)

んび

近親の方々を召され を召されて御絵式 は ならせられず御 お正月をお 和氣靄々裡に

開散機りを示してるた

上歳末の

書勿

水くみ

ら起床が

君を思いて氣魄が

非常時局の新春を迎へた関都 移る、この間、突厥は日滿中本新京は、華かな新春の屠藍氣 関軍機を始め時局の覺悟を一を設にわたり極めて質素に執 り、滿堂の拍手をあびてアッ全般にわたり極めて質素に執 り、滿堂の拍手をあびてアッ全般にわたり極めで質素に執 り、滿堂の拍手をあびてアッ全般にわたり極めで質素に執 り、滿堂の拍手をあびてアットし詰の有撲、定刻正午にな 時四十分まつ張總理も適面に刻かな笑 かをたいへ和氣溢るへうち等 すし詰の有撲、定刻正午にな 時四十分まつ張總理の發酵で 大日本帝國萬歲、次で稙田軍ると綾々とつめかけ、無慮一 司令官の殺ëで大滿洲帝國萬 元子百名、零時二十分福田軍 歳を三唱して互聽會を終了し まて言語にもと 大日本帝國萬歲、次で稙田軍 ると綾々とつめかけ、無慮一 司令官の殺ëで大滿洲帝國萬 たく寫画下は五體會 たく写画下は五體會 というないに張岡秀徳理が たく写画下は五體會 というない。 新京互禮會學行さる

だ留心の書を子供 統ある行事を飾っ

申譯なし 3

京タム裏後瀬井薫義氏は恐縮 に協力犯人を捜査してあ 察に協力犯人を捜査してる 察に協力犯人を捜査してる 察に協力犯人を捜査してる をでした新捕らへて見れ は我が了のなんとやらで唯

京タク

賀

H

餌

1/2

常磐津(東京)「かった」 正賀 賀 ふぐ 謹 賀 康德五年 気ねの 始 大連鐵工所新京出張所新京出張所新京出版領の七〇番地 岡賀 料理を 3 **新**京 煤油批發 Æ 新平 長公 池 た 外菊白 新 煙草 電話(3)三四二三七階町二丁日二七 哲 春四 店 0 落 同三與 生 市都キネ 室岡以上お遊びの方に 第一次 な 遊 街 JE 賀 E 0 E 0 は 教實土 民 警 次 育廳長 胞 廳 **加輕金屬製** 吉 同 副 課 是 是 是 检查 經 同 總務 課 課 課 長 長 務理事 技 務 師 理 帝 事 事 長事 事 やげ 7 股長 長 長 長 長 長 公 招 署 待券 山星高內劉藤根

本野橋野飯橋龍社信龍康正衛龍

夫男順夫棻門

道が賑ふ娛樂街

百個除所持してA 事柄受取りは御母 本膨より係員出現 本膨より係員出現

団張の上押送す 関用始めの後に、犯人の

伊太利飛行家の學水上機の世界記錄を樹立

西洋横斷

常設館、公會堂、ネオン街大繁昌

高菜のB級ホット に重り率火で墨に これに出場の新宝

計畫であるといはれる 計畫であるといはれる 計畫であるといはれる 計畫であるといばれる 計画の職によれば樹春 を別しローマー東京間無着陸

でられる胸

超非常時の元日

緊張漂ふ中に

皇軍の武運長久所願

膳間衝いて神前に集る赤子

を本部長起つて多端なりし去年 御代を壽ぎ組國の総前線にある中、大学の大学にまづ日補兩國々歌 見童達は四方拜拜賀式に學校所の吹奏にまづ日補兩國々歌 見童達は四方拜拜賀式に學校院の吹奏にまづ日補兩國々歌 見童達は四方拜拜賀式に學校所高らかな齊唱に正前に掲げ へと集り先生達と年頭の挨拶が高らかな齊唱に正前に掲げ へと集り先生達と年頭の挨拶が高らかな齊唱に正前に掲げ へと集り先生達と年頭の挨拶が高らかな齊唱に正前に掲げ へと集り先生達と年頭の挨拶が高らかな齊唱に正前に掲げ へと集り先生達と年頭の挨拶が高らいた。 べ、冷酒に闖の質素な開宴に 歳を祈り、昨年日支事變以式辭を終れば徐市長親詞を述 思ひ弄賞式に移って聖壽の界顧と今年の慇悟を述べて る勇しい兵除さん達の勞苦 本部長起つて多端なりし去年 御代を壽ぎ組國の僞前線に本部長起つて多端なりし去年 個無揚揚式に先ご榮え行く 如くゆらぎ、ついで橋本首都 國無揚揚式に先ご榮え行く

不の午前を湯したでのの腰難會に出品するがら晴れやかな

人時間

同桐平初憲清級

長長道 外孫杉堀中田小坂袁大張 同思入一正治弘二瑞己恕



寫眞館 原 所 顾上

13

御

容 中

小園場、公園場、公園場、公園場、公園の 関語料より無料金の場面の場面料より無料金の水の樹場である。 ならずに大のニューからら。 とならずにはあなった。

画

に増へない、今後製品内容の 整術向上を聞ると共に、表現 法の進步設議に大なる努力を 等である、此見触よりアメリ 第である、此見触よりアメリ が映畵の輸入されない事は日 本映畵の進路に一轉機を削す る事とも考へられる 以上を約言すれば、最近映





長田見

一浩禮

息吉子







三宅邦子●河村黎吉徳大寺伸●近衛敏明



整を陣華豪の國報藝演に更、てへ迎を晨佳の勝戰く治に海四威皇 すま上申ひ誓御を事んら奉ひ副に滬盛御の彦諸顧愛御素平管只へ

禮御員滿超





廼東三金繁お力拔富文才鐵芳丸新金芳萬小 天 (美 之 之

行與回二夜晝日每



変別!」	かままの意思	だました。 これつの 大て 代告	路は消えて との中から取だしたのは ころが、神概変録 さ、つぶやくさ、ふらん さ、カまき 古難誌の乗をこり出した。 おまた	きうちへて、また、公不は、ちへこんであた公不は、や			がな。 総わづ いや、 相常跳しつたぞ。	できなら さうだく、さう思つた。 音なら はーーなに騒鳥なんでえるさい いくらでもあるさ 重大ぢゃさら いーーごかたづけてしま	のまですも能は變だよ。射し逝す朝の のが答へる。 は、一時をす。 は、何か、が かが答へる。 は、一時をす。 は、何か、が	とかれてもしたやうに、は ひつけて、何か、さうつぶやいて――朧か 公率は、新しいさうつぶやいて――朧か 公率は、新しいさらのださらしたかって、苦笑ひ ごこを思ひださら	八五) あなたは になってくれませ	青春の宿
大連製保險株式會社	企業無力 建	少大連都市交通**、會社	● 南瀛洲瓦斯株式會社	國際運輸株式會社	首 藤 定	子 体	营井青兵新 遠 藤 盛 彌	福本順三郎松尾勝三	滅 居 満	田神知事	大津飲	謹賀新年
数 奥 中 公 司	柳 谷 组	滿洲土木建築業協會	森永製品顯株式會社	離 昌 公 司	1	●滿洲化學工業**、會社			滿洲電信電話#4.會社	0 大連汽船株式會社		●滿洲石油株式會社
協盛廖皮工版	光	馬三	原寫真製版所	大連市常磐橋 大連市常磐橋 文 大連市常磐橋 全華 號 本 店	浦汽船株式	大連舞踏場組合	大型市監部通 大 信 洋 行	大連市信渡町 葉 洋 行	離大連連鎖街	一般印刷 武田博文堂印刷所	阿波國共同汽船縣會社	東東來洋行
大連市老帳等が方	全阪町遊廓×*事務所 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	フエー リカル (co) in Min	大連市旁級可 花 能	大連市岩族町三名 大連市岩族町三名 支 商 店	大油市菜町二 漁 越 洋 行	天連市連鎖街	大型 一大型 一大型 一大型 一大型 一大型 一大型 一大型 一大型 一大型 一	大連市連續衛	九 間 洋 行	大連市連鎖街 育 堂	大油市油鎖貨 人名 仙 館	奥 田 時 計 店
●代 4	一	を 現程	御料理秀 世 田 ァ マ マ 家	理等 川	本主教活版所 和 田 收 場	公主嶺タクシーの大主嶺堀町一丁目		公 主 嶺 一同	公主嶺藥業者一同	公主嶺特產商組合	松昌公司	商 利組 合 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
進野 酸造	株式會配 國町十五 二人者	利北商新自 自長 期 端 衛会長 社 榮	五	國際運輸株式會	 	電氣際於公主		公主樹朝	金融組合	1	瓦學	是 造